

インターン生の つながる通信



私達は、**30年後**の日本のビジョンを考える**未来国会（政策コンテスト）**に参加し、「**誰一人取り残されない社会**」をビジョンとし、三つの政策を提案しました。

国民すくい

「もっと早くに気づいておけば・・・」「どうしてこんなことに・・・」など、日常生活の中で後悔する場面があります。また、事件・事故などのニュースでもよく見聞きします。私達は、そのような思いを少しでもなくしたい！

防ぎたい！と思い、「国民すくい」を実現したいと考えました。

☆現状

- ・心停止になる方 年間約 **79,000** 人
- ・児童虐待による死亡事例 年間 **50** 件以上
- ・2021年度の行方不明者 **79,218** 人



政策① バイタルチップ政策

健康状態を数値化する「バイタルチップ」を体内に装着し、デジタル機器と連携させることで、個人による把握を可能にします。

☆効果

- ◇ 健康状態の把握
- ◇ アレルギーなどの体質の把握
- ◇ 重症化防止

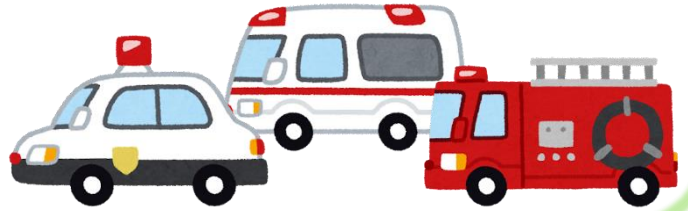


政策② スクープシステム政策

氏名・位置情報などが搭載された「バイタルチップ」を用い、カラダに異常が生じた際に、警察・消防に通報されるシステムを構築します。

★効果

- ◇ 事件・事故の未然防止
- ◇ 搜索の迅速化



政策③ トータルプロモーション政策

政策①、②が社会全体に普及するように、啓発を行います。

★手段

◇ 世代別の啓発内容

高齢者 ➡ 遠隔医療の実現

現役世代 ➡ 健康診断の代用 etc..



「国民すくい」の「すくい」には、

「救う（救助）」と「掬う（掬い上げる）」という二つの意味を込めました。

一緒に「誰一人取り残されない社会」を目指しましょう！

----- インターンを終えて -----

インターンでは、沢山の方と関わる機会があり、興味があったフードパントリーにも参加させていただきました。実際に参加し、人のために行動する方がこんなにもいるのだと感銘を受けました。インターンを通して、自分の目で見、知識を得ただけでなく、人とのつながりの大切さを改めて学ぶこともできました。未来国会を進めていく中でも、神原議員をはじめ沢山の方に支えていただきました。今後は、自分自身が人の役に立てるよう、次の目標を明確にし、充実した大学生活を送ります。

恵良萌佳

今回のインターンで過ごした二カ月間はとても充実した期間となりました。神原議員との活動を通して、職員の方との繋がりや市民の方々との触れ合い、イベントの参加等、議員が地域と深く関わっていることを知りました。同時に、自分のコミュニティの狭さも実感しました。コミュニティを広げ、より視座を高められるように、枠組みを超えたつながりを大切にしていきたいと思います。また、政策コンテストでは様々な視点や考え方に触れ、自分の考え方が一面的にならないようにする事の大切さを学びました。今回得られた学びを自分の成長につなげていきたいと思っています。

石川伸朗